

## アンケートについての前書き

この調査は私たち「みんなにやさしい福田町駅をつくろう会」の設立主旨に基づき、私たちの具体的活動のはじめとして、地域の皆さんや地域に在る高等学校等のご協力をいただき、実施したものです。ご協力いただきました皆さんに心より感謝申し上げます。

### 調査対象・調査方法・集計等について少し説明します。

○ **調査対象**には、福田町駅を利用している町内会もしくは福田町駅が他の仙石線駅（新田駅や高砂駅）より近くにある地域町内会の皆さんに協力をいただきました。その地域の方が必ずしも仙石線利用者とは限りませんし、他の地域にも利用者がいることも十分考えられますが、生活圏を中心に仙石線福田町駅近隣の19町内会と致しました。また、福田町駅を通学に利用する高校や専門学校に通う学生の意識も調査しました。二つとも福田町駅より北側にある学校のため南側や西側の駅周辺に対する思いは希薄であることも考えられますが、毎日福田町駅を利用している学生の意識調査も行うことにしました。

○ **調査方法**については、駅で直接利用者にたずねる方法も検討しましたが、駅利用者の迷惑等も考え、記入時間が家庭で十分確保できるので、地域町内会による全戸配布方法を選びました。学生には学校のご協力で全生徒に配付していただきました。

○ **回収**は、町内会内での回収だけでなく、地域内の郵便局やコンビニエンスストア、スーパーマーケットの店内に回収箱を設置していただきました。仙台市・JRのご協力で福田町駅にも回収箱を設置できました。回収は地域配付したアンケートはあくまでも関心のある有志の方の回収になりましたが、学校での調査は学生全体の意識の傾向を知ることができました。

○ **内容の詳しい集計**にあたっては次ページからご覧下さい。

集計では標本数の合計が項目数の合計と一致しない箇所があります。計算ミスではなく、回答用紙の数をそのまま記載させていただきました。その理由は、解答用紙の上段の質問には「要望がない」と回答した方が下段の質問では「要望を記載」しているのです。そこで、数が合わなくなるのですが、記入者の思いを大切にしたので、全体修正はあえて行いませんでした。その点をご理解願います。

### 感謝とお願い

1600人を越える皆様のご協力に心より感謝申し上げます。おかげさまで資料ができました。これから皆様からのご意見をいただきたいと思います。そして、皆様とともにさらなる福田町駅の改善のために活用していきたいと思えます。ただ、活用に当たりましては当会にご連絡いただくこと宜しくお願いします。（無断での使用を禁止します。）

## 目次

	ページ
1. アンケート調査の概要	1
(1) 調査期間	1
(2) アンケート調査の対象	1
(3) アンケート調査の内容	1
2. アンケート調査結果	1
(1) 回答者の属性	1
(2) アンケート回答者の利用用途	2
(3) アンケート回答者の利用頻度	2
(4) アンケート回答者の福田町駅および駅周辺に対する要望の有無	2
(5) アンケート回答者の福田町駅および駅周辺に対する要望	3
(6) 自由記載欄のまとめ	6
(7) バリアフリー法の認識状況について	7
あしがき	8

## (添付資料)

- ・アンケート調査表
- ・付表1 地域住民のの要望事項まとめ(アンケート設問4、5)
- ・付表2 学校関係者の要望事項まとめ(アンケート設問4、5)
- ・付表3 全体の要望事項まとめ(アンケート設問4、5)
- ・付表4 自由記載欄のまとめ表

## 1. アンケート調査の概要

### (1) 調査期間

平成28年6月15日～6月30日

### (2) アンケート調査対象

アンケートは、地域住民、最寄の学校を対象に実施した。

#### (a) 地域住民

福田町駅近隣18町内会(注1)、宮城野の里、福田町駅利用の方々(駅回収)

(注1) 仙石・福住・福田横丁・福田町・福田上町・砂押・田子西中央・南福室・グリーンパーク  
上田子二丁目・田子南・田子・七福・こだま・田子西・福田下・西三丁目町内会

#### (b) 学校関係

宮城野高校、仙台高等技術専門校の学生及び教職員

### (3) アンケート内容

添付のアンケート調査表により、アンケートを実施した。

## 2. アンケート調査結果

約8000枚のアンケート用紙を配布し、約1600人分(約20%)のアンケート用紙を回収した。  
地域住民と学校関係のアンケート回答者数は、表1の通りである。

表1 アンケート回答者数

地域住民		学校関係		合計	
人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
586	37	1016	63	1602	100

以下、アンケートの設問に従い、報告する。

### (1) 回答者の属性(設問1「性別・年齢の確認」のまとめ)

#### (1-1) アンケート回答者の性別分布について

アンケート回答者の性別分布を図1 に示す。

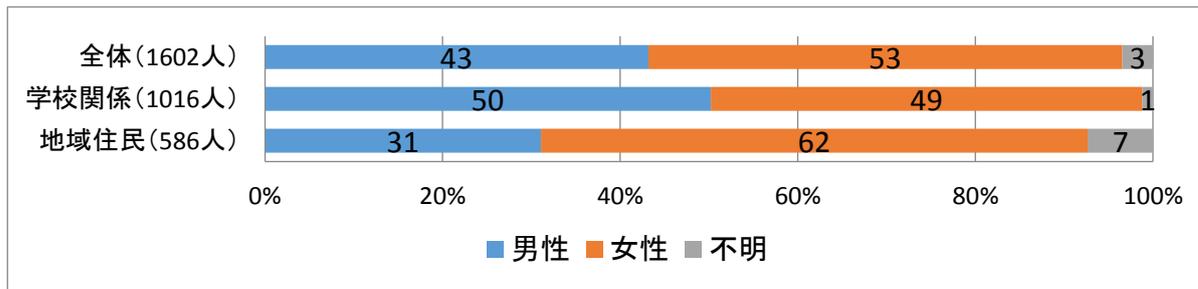


図1 アンケート回答者の性別分布

- 回答者の男女比率は、地域住民では、女性が約6割、学校関係では、ほぼ半々であった。

#### (1-2) アンケート回答者の年齢分布について

アンケート回答者の年齢分布を図2 に示す。

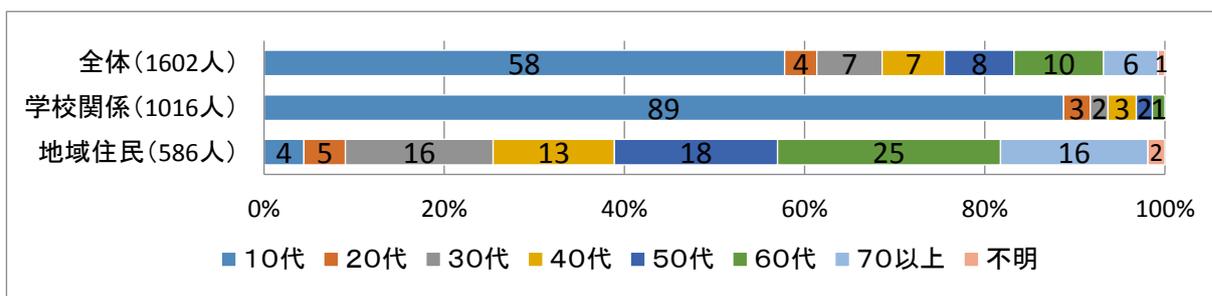


図2 アンケート回答者の年齢分布

- 年齢比率は、地域住民では、60才以上の方が約4割、学校関係では、10代が約9割であっ

## (2) アンケート回答者の利用用途(設問2 のまとめ)

アンケート回答者の仙石線の利用用途を図3 に示す。

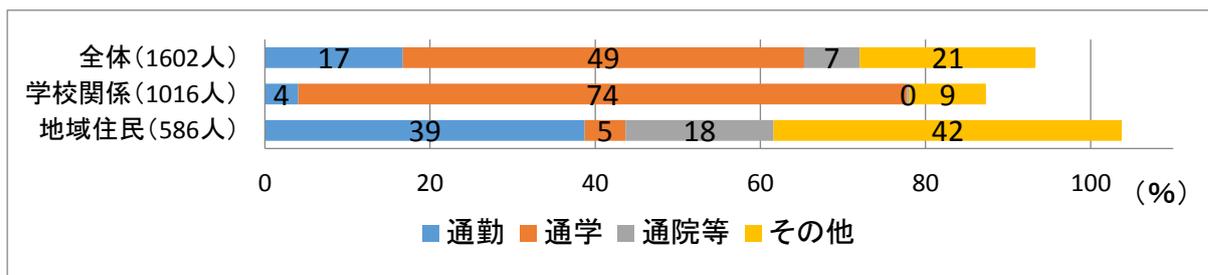


図3 アンケート回答者の利用用途

- 地域住民の利用用途は、通勤・通学が44%、通院が18%、その他が42%であった。
- 学校関係者の利用用途は、通勤・通学が78%、その他が9%であった。

## (3) アンケート回答者の利用頻度(設問3 のまとめ)

アンケート回答者の仙石線の利用頻度を図4 に示す。

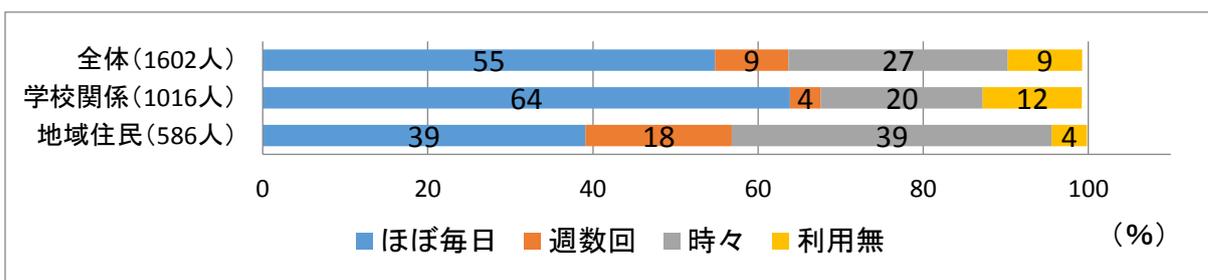


図4 アンケート回答者の利用頻度

- 地域住民の利用頻度は、ほぼ毎日が39%、(週数回+時々)が24%、利用無が4%であった。
- 学校関係者の利用頻度は、ほぼ毎日が64%、(週数回+時々)が24%、利用無が12%であった。

## (4) アンケート回答者の福田町駅および駅周辺に対する要望の有無(設問4 のまとめ)

アンケート回答者の福田町駅および駅周辺に対するの有無の状況を図5に示す。  
また、のべ要望件数は、表2の通りであった。

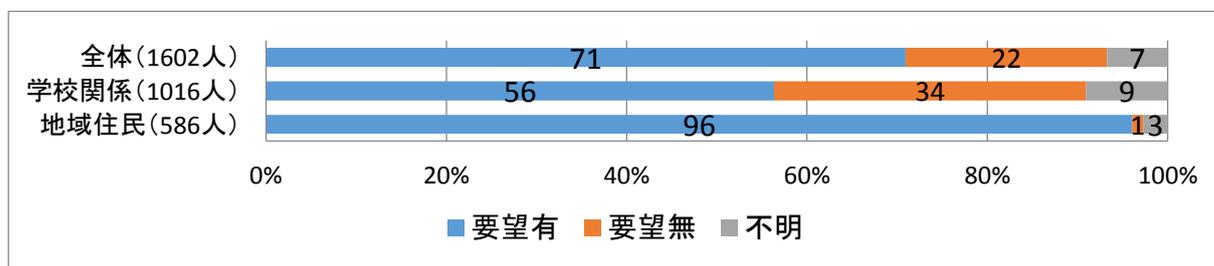


図5 アンケート回答者の要望の有無

表2 のべ要望件数

項目	のべ要望数(件)	備考
全体(1602人)	3,174	2件/人相当
学校関係(1016人)	1,103	1.1件/人相当
地域住民(586人)	2,071	3.5件/人相当

- 地域住民の96%は、福田町駅および駅周辺に対し、要望を持っていた。  
一人当たりの要望件数は、3.5件であった。
- 学校関係者の56%は、福田町駅および駅周辺に対し、要望を持っていた。  
一人当たりの要望件数は、1.1件であった。

(5) 福田町駅および駅周辺に対する要望(設問5のまとめ)

以下地域住民、学校関係者にわけ、分析を進める。

(5-1) 地域住民の福田町駅および駅周辺に対するについて要望

地域住民の福田町駅および駅周辺に対する要望を、図6 に示す。

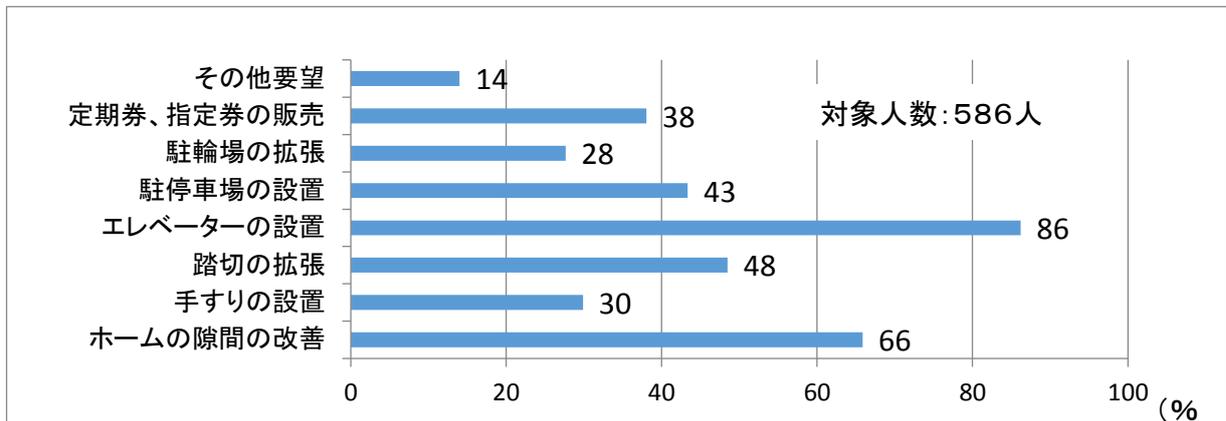


図6 地域住民の各要望事項に対する人数割

要望の多い内容は、エレベータの設置(86%)、ホーム隙間の改善(66%)、踏切の拡張(48%)、以下、駐停車場の設置、定期券・指定券販売、手すりの設置、駐輪場の設置の順であった。

以下、要望の多かった5項目の区分毎の人数割の分布を図7～図11示す。

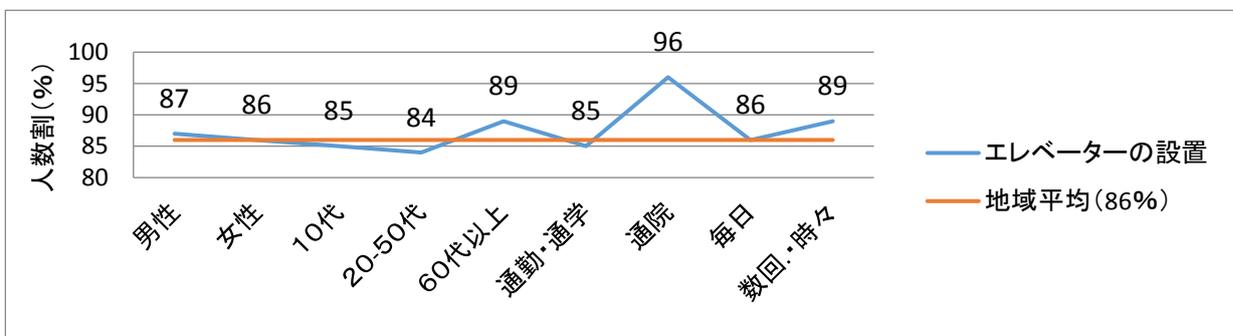


図7 「エレベータの設置要望」における区分毎の人数割の分布

各区分共、80%以上の高い値であったが、特に、「通院」に利用している人の人数割が96%と最も高い数値となっていた。

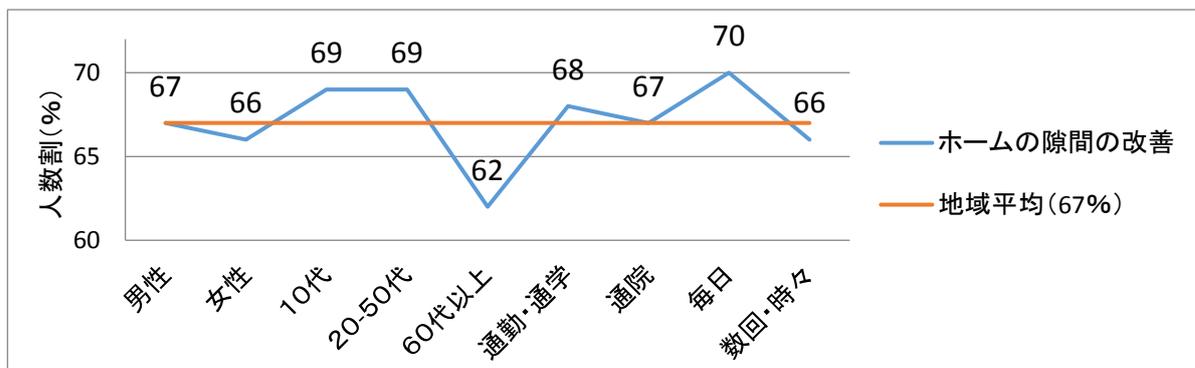


図8 「ホームの隙間の改善要望」における区分毎の人数割の分布

各区分共、60%以上の高い値であったが、「10代～50代」「通勤・通学」「毎日」利用している人の値が高い数値となっていた。

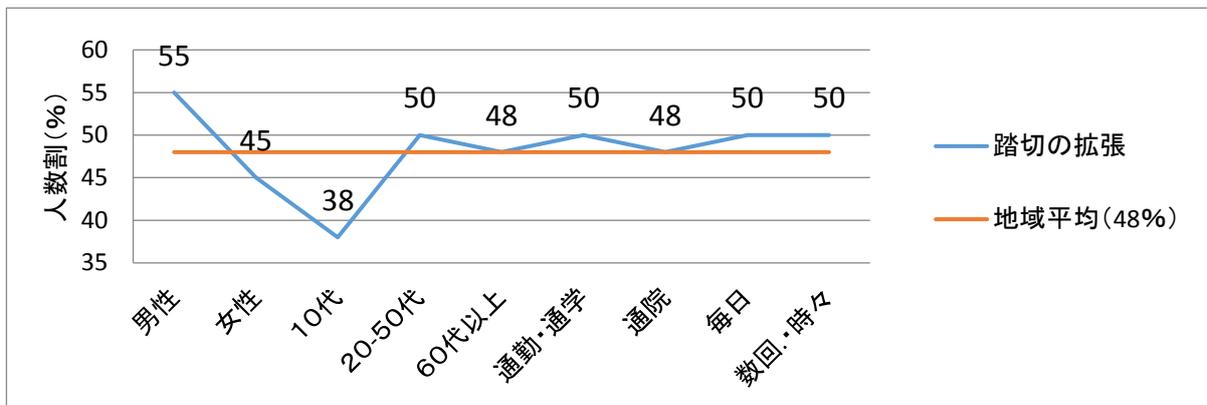


図9 「踏切の拡張要望」における区分毎の人数割の分布

「男性」の値が55%最も高い数値となっていた。

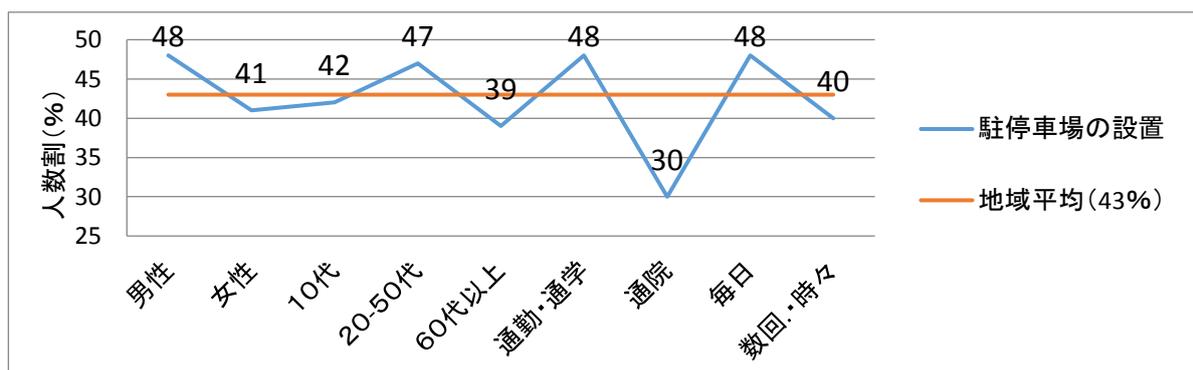


図10 「駐停車場の設置要望」における区分毎の人数割の分布

「男性」「20～50代」「通勤・通学」「毎日」利用する人の要望率が高い数値となっていた。

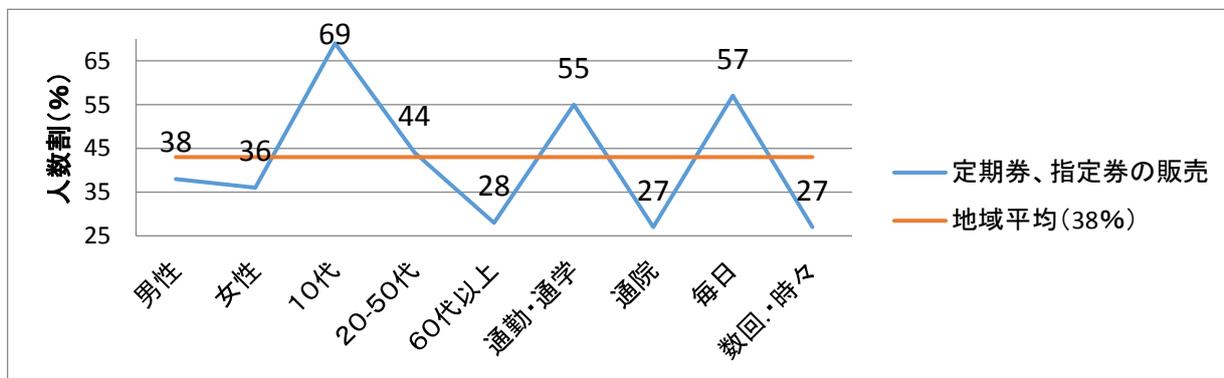


図11 「定期券、指定券の販売要望」における区分毎の人数割の分布

「10代」「通勤・通学」「毎日」利用する人の値が高い数値となっていた。

(5-2) 学校関係者の福田町駅および駅周辺に対するについて要望

学校関係者の福田町駅および駅周辺に対する要望を、図12に示す。

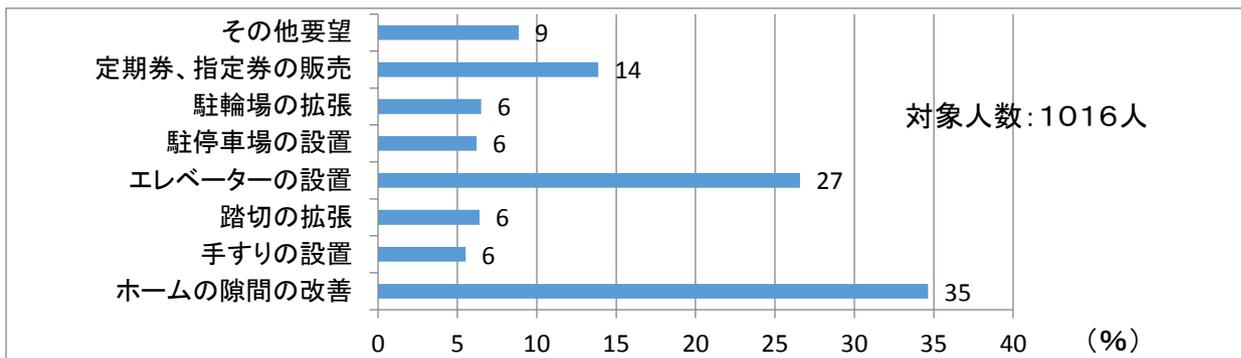


図12 学校関係者の各要望事項に対する人数割合

50%の値を超えるものはなかったが、要望の多い項目は、ホーム隙間の改善、エレベーターの設置、定期券・指定券の販売の順だった。

以下、要望の多かった上位3項目の区分毎の人数割の分布を図13～図15示す。

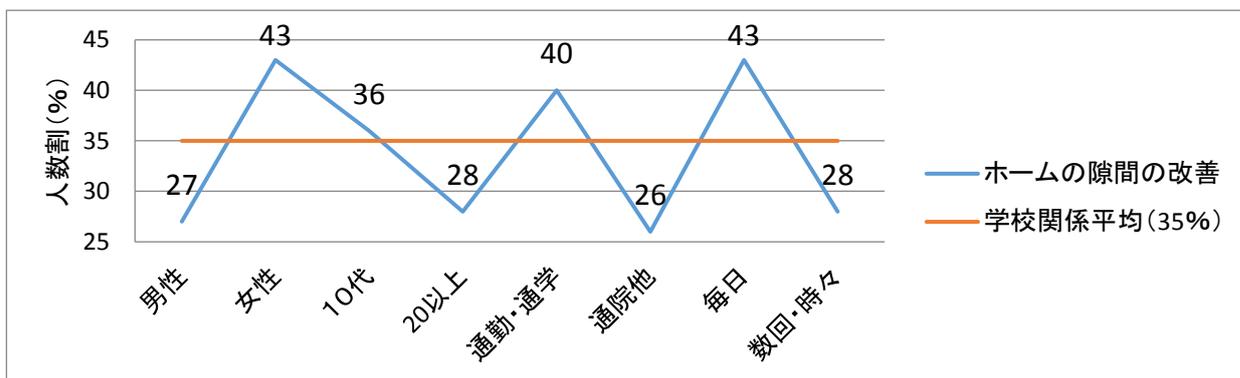


図13 「ホームの隙間の改善要望」における区分毎の人数割の分布

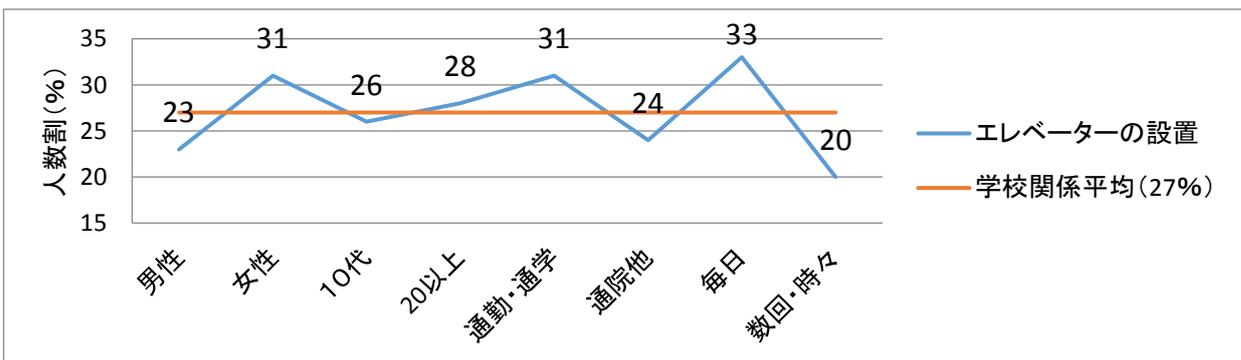


図14 「エレベーター設置要望」における区分毎の人数割の分布

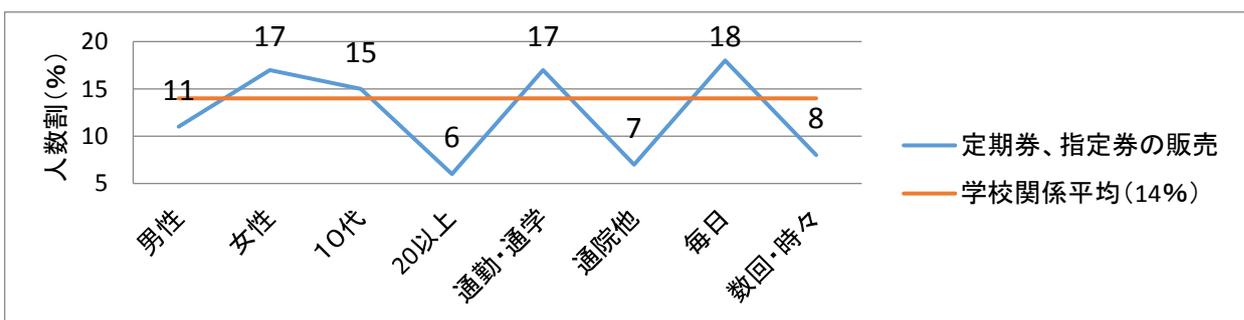


図15 「定期券、指定券の販売要望」における区分毎の人数割の分布

各項目とも「女性」「10代」「毎日」利用している人の値が高い数値となっていた。

アンケート調査の自由記載欄(設問5-8、設問7)は、674人(のべ人数)から回答があった。自由記載欄の詳細は、「付表4 自由記載欄のまとめ」の通りです。概要については、以下の通りです。記載内容の対象(駅、駅周辺等)の分布を図16に、記載内容の分布を図17に示す。

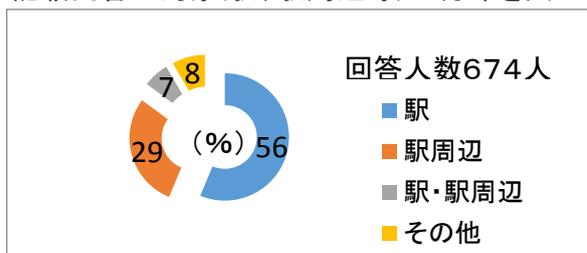


図16 記載内容の対象物分布)

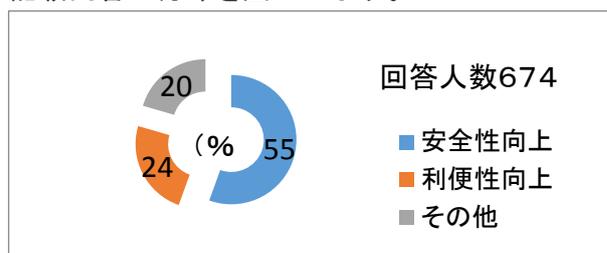


図17 記載項目の内容別分布

自由記載の対象は、駅56%、駅周辺29%、駅・駅周辺7%の順であった。また、記載項目の内

以下、記載項目で、安全性向上、利便性向上要望について書かれていた内容の概要について説明する。

(6-1) 「安全性向上要望」についての記載概要

表3 に安全性向上要望の概要を示す。

表 3 自由記載欄の安全性向上要望の内容(概要)

No	項目	内容	記載人数	備考
1	項目 補足	プラットフォームと電車の隙間対策要望 のぼり電車のホームと電車の隙間が大きく、恐怖と危険を感じる人がいる。(子ずれは、特に大変)	25	設問5-1で、地域住民の66%、学校関係者の35%が要望
2	項目 補足	プラットフォームの狭さ解消要望 利用人数に対し、ホームが狭すぎ。特に、学生が多い時上下同時に列車が入ると危険。	34	
3	項目 補足	プラットフォーム屋根拡張要望 屋根が半分しかなく、雨、雪の日など待機が大変。足元が悪く、ベビーカーの移動が大変。	35	
4	項目 補足	エレベーター設置の要望 年寄、子ずれ、けが人には、階段の上り降りは、大変。→エレベータの設置希望	66	設問5-4で、地域住民の86%、学校関係者の27%が希望
5	項目 補足	階段の問題点について 年寄、子ずれ、けが人には、階段の上り降りは、大変。	34	
6	項目 補足	改札口から通路拡張の要望 利用者が多い時、改札口から通路の狭いところに乗客があふれ大変。→改札口の増設、通路の拡大を希望	27	
7	項目 補足	周辺道路狭さ対策について 狭い駅前道路に人・自転車・車が集中し危険。特に田子側口は、即、道で、見通しが悪く、非常に危険な状況。	47	
8	項目 補足	踏切の拡張対策の要望 狭い踏切に、人・自転車・車が、集中し、いつ事故がおきても不思議ではない状況。	41	設問5-3で、地域住民48%、学校関係者の6%が希望
9	項目 補足	駅・駅前の防犯対策に関する要望 駅・駐輪場・駅前が、暗く不安全。明るく、防犯カメラ設置等の対策をしてほしい。	26	
10	項目 補足	南側シャッター場の運営時間の変更に関する記載 夜間、駐輪場を通れないと、脇道が暗く、足元が悪く危険。	14	
11	項目 補足	駐停車場に関する要望 駅前で停車している車が多く危険。(保育所の前が多い)	7	設問5-5で、地域住民の43%が希望

(6-2) 「利便性向上要望」についての記載概要<sup>6</sup>

表4 に利便性向上要望の概略を示す。

表 4 自由記載欄の利便性向上要望の内容(概要)

No	項目	内容	記載人数	備考
1	項目	定期券・指定券の販売の要望	4	設問5-7で、地域住民の38%、学校関係者14%が要望
	補足	定期券販売が緊急課題として記入されていた。		
2	項目	昼間駅員の常時配置	7	
	補足	「無人駅に感じる」といった記載もあった。		
3	項目	トイレ改善について	20	「近隣、他駅並みにしてほしい」と書かれたアンケートもあった。
	補足	洋式トイレ化、増設、身障者用のトイレの必要性の記載もあった。		
4	項目	売店・コンビニ・自販機の増設について	38	
	補足	自販機については、スイカの使える自販機設置の要望もあった。		
5	項目	北側駐車場の改善について	14	設問5-6で、地域住民の28%、学校関係者の6%希望
	補足	北側(田子側)駐輪場が不足の上、上下2段式で、取扱いが大変。(けが人もでている)		
6	項目	駅前整備に関する記載	50	
	補足	駅前広場、バスターミナル、タクシー乗り場等の環境整備を希望		

### (6-3)その他特記事項

- ・自由記載欄で新設・移転希望を記載した人が、42名いた。一方、移設反対者も3名いた。
- ・仙台市、JR、地元議員に対し、計画をオープンにして、速やかな計画推進を希望する内容を記載した人が、12名いた。
- ・駅、駅周辺の美化(清掃)を希望する内容を記載した人が、18名いた。

### (7)バリアフリー法の認識状況について

バリアフリー法の認識状況の調査結果を図18に示す。

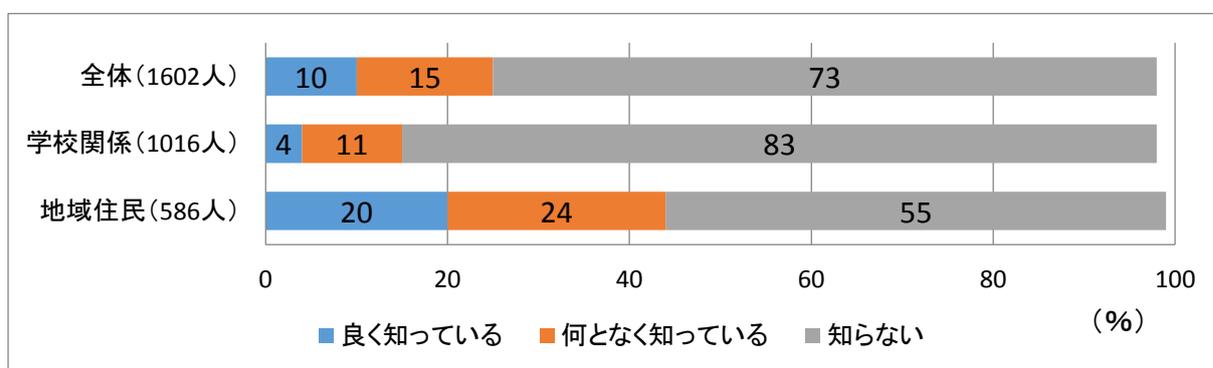


図 18 バリアフリー法の認識状況

バリアフリー法については、地域住民の50%以上、学校関係者では、80%以上が、認識していない状況であった。

## あ と が き

真夏の暑さが身にしみる七夕の初日、私は所用で福田町駅の階段を上りました。その時のことです。年に一度の七夕を見にいくのだろうと思われる家族が私の隣にいました。お母さんと小学生の娘さんとおばあさんの3人家族のようでした。娘さんは七夕へ行くことで心が弾んでいるのか、私の前に来たり、後から手すりを支えにしてゆっくりと上がってくるおばあちゃんを励ましたりと階段を幾度となく上り下りをしています。お母さんはおばあさんのそばで気遣いながら安全を確保していました。やっとプラットフォームに到着して、登り電車を待ちながら汗を拭く私とおばあさん。私たちにとっては娘さんの元気がまぶしく感じました。

今回の調査から私たちが改めて確信したのは正しくこのことでした。50才代以上の方からたくさん寄せられた回答書の数。加齢と共に階段の昇降が厳しくなり、利用が困難になる福田町駅の不便さの証です。障害のある方にはこの駅は利用できないのです。学生にとっては、朝夕のプラットフォームの狭さが最大の課題になりました。30代女性の方からも回答が多くありました。幼子をもつ母親にとってこの駅はベビーカーの使用が困難な駅、子育てには負担のかかる駅ということでした。

そこで、皆さんから寄せられた自由記載の内容を安全性と利便性の二つの観点にまとめてみました。安全面では、構内照明など駅のシステム改善で明日にでも改められるのではと思われる点も少なからずありました。利便性についても同じことです。反対に、なかなか改善できないと思われることも多々あります。地域全体を巻き込んでの解決が求められることもたくさんあります。バリアフリー法はみんなにやさしい法律です。だからこそ、この法に従って福田町駅の改善が行われなければなりません。困難をそのままにせず法の実施を求めて私たちはさらに運動を続けたいと思います。

近い将来の夏の日、この駅からどんな人も、安心して、家族で七夕を見に行けるようにしたいものです。皆さんいっしょに行動しましょう。

平成28年8月吉日

会 長 野口 健三